

# 大五建設社内報

～第26号

平成 28年 7月 15日発

作成者 倉林佳澄

〈社員の趣味・特技紹介〉

## 〈安藤さん〉

安藤さんのご趣味は、音楽鑑賞だそうです。音楽に目覚めたきっかけは、学生時代に、東京のご友人の家で「JBL4343」という箆筒ほどもある大きな高性能スピーカーに出会ったこと。まるで、何もない空間に突然、歌手が現れ、目の前で歌っているような錯覚を覚えたほどだったそうです。この出会いをきっかけに、安藤さんはジャンルを問わず色々な音楽を聴くようになったそうです。とりわけ心が動かされるのは、心に響くような、何かを訴えかけるような響きを持つ歌とのこと。中でも安藤さんのおすすめは、マイルスデイビスというジャズミュージックの先駆者が亡くなった際に出された彼のトリビュートアルバム。また、最近よく聞く曲は、越路吹雪さんのベストアルバムとのことです。忙しい日々の中でも音楽を聴いている時間が、安藤さんにとってリラックスできる時なのだそうです。



安藤さんが学生時代に音楽を好きになるきっかけになった「JBL4343」



お客様から戴いて、その後もよく聴いている「越路吹雪さんのベストアルバム」

## 〈飯野さん〉

飯野さんのご趣味は、昔は溪流釣りやカメラなど、いろいろあったそうですが、今は山歩きに行かれることが多いそうです。山で出逢ったきれいな花や植物の写真を撮るのがお好きなのだとか。最近、長野県の志賀高原に位置する標高2,295mの岩菅（いわすげ）山に登ったとのこと。ハクサンチドリはピンク色が多い中、今回は珍しい白色が見られたそうです。また、特技としては、陸上競技全般とのこと。最近、マラソン大会に向けて週1回約3kmのコースを走っているそうです。また、スキーの資格は1級をお持ちで、この資格があればスキー教室での指導やスキー場でのパトロールができるそうです。また、長年飼っている金魚は、20匹ほどに増え、自分で卵から孵化させているとのこと。今年は孵化に失敗してしまったそうですが、来年もまたチャレンジされるそうです。また、料理も良くされるそうで、鰯のたたきと、漬け汁から作るお手軽キムチは周囲の方からも好評なのだそうです。



一葉蘭は、緑色の葉の間に隠れてしまい、普段見つけるのが珍しいそうです。



めずらしい白色のハクサンチドリ

## 〈同友会フォロー研修〉

今回の研修では、4月に行った研修の振り返り、3ヶ月の成長、今後の課題についてが学びました。

3ヶ月振りに会うメンバーは、大きく成長していました。前回は学生の気分が抜けていない方が多かったのですが、今回は社会人という感じでした。

研修では、内容毎にグループ討論が行われます。そこではリーダーシップを発揮する人、何となく参加している人など仕事に対する普段の姿勢が垣間見えました。アイウィルの研修では今までにない大きな声を出し、大きな声を出す大切さを学びました。会社PRでは、練習の成果を出し、見事3位入賞しました。上には上があり、まだまだ未熟な面がありました。

朝礼でも発表したとおり、今後の目標があります。大工見習いの前に一社会人なので、礼儀・マナーをよりしっかりしていきます。



最後の全体写真の撮影で誇らしげに映る下山さん（前列右より4番目）と津金さん（最後列向って右より6番目）。

### 〈被災地支援〉

石田さんが6月12日から22日まで熊本県へ行かれていました。主な業務内容は、「4月の地震による建物への影響を点検すること」だったそうです。

飛行機の窓から外を見ると青い屋根が多いことに気付き、すぐにそれがブルーシートだとわかったそうです。最も被害の大きかった益城町は、とても人が住めるような状態ではなく、車で走っていると道路の両側すべての家が全壊または半壊しており、赤紙が貼られていたそうです。全壊した家もまだそのままになっており、復興には相当な時間が掛かると感じたとのこと。幸い、大和ハウス様の建物に、被害は少なかったそうです。益城町では「2件の家が崩れたこと」と、「地盤が弱かったこと」が大きな被害につながってしまったそうです。

点検は、基礎のクラック（ひび）の確認、などを行ったそうです。ひどい家になると、玄関ポーチが40cmほど下がっている家があったそうです。熊本市内でも熊本城はもちろん、ビルが傾いたり、マンションに亀裂が入ったりと広範囲にわたって被害を実感したそうです。

帰る頃には、約95%の点検作業が完了したものの、これからが大変ではないかと感じたそうです。空港の隣では大和ハウス様の仮設住宅を作っていて、他の場所でも何か所か仮設住宅が作られていたそうです。一日でも早く避難所で暮らす人々が、安心できる住居に住むことが出来るようにと感じたそうです。最近では報道も少なくなっていますが、ほとんど復興が進んでいない事、余震が続いている事を実感したとのこと。日頃の備えの大切さを痛感した支援活動になったそうです。



崩れた城壁  
(写真上)



崩れた熊本城の  
城壁  
(写真上)



倒壊した家屋  
(写真左)

### 〈渡辺係長の交通安全運転管理者表彰式〉

先日の6月24日（金）に「優秀安全運転管理者の賞」を受賞されました。この賞は、「K2（安全運転適性検査）を定期的に継続して実施している事業所であること」、「安全運転活動を行っている事業所」、また「事故の少ない会社」など一定の基準を満たした事業所の安全運転管理者に贈られます。

当社では、「安全運転習慣の呼びかけや安全運転に関するポスターの掲示」、また「のぼり旗を立てる」などの取り組みを行ってきました。また、安全運転管理者の講習会を通して得た情報を渡辺係長が朝礼で共有し、安全管理に努めてきたことが今回の表彰の理由となりました。渡辺係長からは、「今まで以上に安全運転について声掛け、意識付けをしていきたいと思いますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。」とのことのお話をいただきました。また表彰していただけるように、安全運転にはみなさん気を付けましょう。



「いろいろな方の力添えがあったからこそ、この賞をいただくことができました。本当にありがとうございます。」と、渡辺係長。